

Happiness



大府市立大府中学校 第3学年 学年通信 令和元年11月29日(金)発行 第8号

感謝

日に日に気温が下がり、朝晩はめっきり冬らしくなってきました。

先日の合唱祭には多くの保護者の方にご来場いただき、ありがとうございました。今年は最上級生という高い意識をもって、3年生はステージに立ちました。歌声はもちろん、表情にもその意気込みが表れており、生徒たちの“熱い心”を感じました。審査結果を聞き、歓声をあげて喜ぶ生徒、涙を流して悔しがる生徒…。本番を迎えるまでには、さまざまなドラマもあったことでしょう。合唱祭を通して、生徒たちはまた一回り成長したように感じます。本当によくがんばりました。“感動”をくれた生徒、ご家庭でお支えいただいた保護者のみなさまに心より感謝します。

さて、いよいよ卒業後の進路を決定する時期になりました。年が明けると、実力テストや第4回定期テスト、そして入学試験と、生徒にとって試練の日々が続きます。受験勉強に励むことはもちろんですが、自分の力を最大限発揮するには体調管理がとても重要です。体調を崩さないように、先のスケジュールを見通して、計画的に学習をすすめてほしいと思います。



12月

2日(月) 生徒集会
9日(月) 火①～⑥
10日(火) 月①～⑤
11日～13日 保護者懇談会
16日(月) 火①～⑥
17日(火) 月①～④、
⑤⑥地球のステージ
20日(金) 大掃除、給食終了
23日(月) 終業式

〔1月の主な予定〕

7日(火) 始業式
8日(水) 実力テスト、給食開始
9日(木) 月①～⑤水⑥
10日(金) 学校公開日
16日、17日、20日
第4回定期テスト
29日(水) 私立推薦入試
31日(金) ～ 保護者会

* 集金について *

今月の振替日は6日(金)です。
合計 12,000円
残高不足のないようご確認ください。
ご協力よろしくお願ひします。

体調管理に注意!

インフルエンザの予防接種は受けましたか？
今年は例年より早く、近隣の小学校で流行しています。保健の学習で出てきた感染症予防の三原則を思い出し、受験の大切な時期に体調を崩さないように注意してください。睡眠時間が足りずに眠たそうにしている生徒、頭痛を訴える生徒も増えています。就寝時間が遅くならないように、生活リズムの見直しも！

合唱祭を終えて… Happiness より

最高のクラスと合唱

僕は合唱祭はやっても意味がないと思っていました。なんかクラスの中でもめるし、楽しくもないし、女子怖いし…はっきり言ってめんどくさいと思っていました。でも、今回の合唱祭で合唱祭をする意味が分かったような気がします。合唱祭は「結果」がすべてではなく、その合唱を作り上げるための「過程」が大切なんだと思います。確かに合唱を作り上げている中で、もめ事はしばしば起こります。でも、その困難を乗り越えれば、クラスの仲はさらに深まり、合唱もより良いものへととなります。いくら最優秀賞をとれたとしても、クラスの仲が悪かったり、合唱祭をいやいややっていたのでは、意味がないと思います。賞は「過程」のおまけとしてついてくるものだと思います。3-1は賞もとれなかったし、ちょっとした問題もありました。でも、最後の合唱は最高だったと思うし、何より楽しかったです。3年1組でよかったです。

(1組 大久保昂一郎)

合唱祭を終えて

私たちのクラスの自由曲「蒼鷺」を初めて聴いたとき、すごくかっこいい歌だなあと思いました。私のパートのアルトもかけ合いが多くて、きっと楽しく歌える曲なのだろうとわくわくしました。でも練習が始まると、この曲の難しさを改めて突きつけられました。アルトの音量が足りないと教えてもらい、家で何回も練習しました。みんなで一生懸命歌うと、その課題は少しずつなくなっていきました。これが合唱祭の楽しさなんだな、とその時感じました。私が風邪をひいて、声が出なくて恥ずかしくて、悔しかったとき、「無理しないで」と言ってもらえて、とてもうれしかったです。賞はとれなかったけど、3組の仲がより深まった合唱祭でした。

(3組 清水 まな佳)

合唱祭を終えて

私のクラスは優秀賞をとりました。中学校最後の行事である合唱祭に向けて、どのクラスも今まで以上に気が入っていましたが、練習を始めたばかりの2組は合唱と呼べるほどのものになっていませんでした。けれども、授業で「信じる」について知り、歌詞を改めて考え直した日から、みんなの歌い方が変わりました。今まで気が付かなかったところにも目を向け、毎日必死に練習しました。今回2組は賞だけでなく、それ以上のものもたくさん手にしました。それはいつも支えてくれた先生や本当に息の合った指揮と伴奏がいたおかげです。この合唱祭は、一生忘れない大切な思い出になりました。(2組 渡辺 さくら)



合唱祭

私は、今年の合唱祭で初めてアルトをやりました。ソプラノをやっていた時の私は、「アルトの声小さいな…」とか「めっちゃつられてるじゃん。」などの文句しかなくて、ずっとイライラしていました。でも、いざ自分がアルトをやってみて、大きな声で歌えない理由がわかりました。地声に戻ってしまうのです。地声で歌ってもきれいには歌えない。きれいな声を出そうとする声小さくなってつられやすくなりました。いい経験になりました。

(4組 小山 果穂)

5組だからこそ

私は今年、学級の伴奏者を務めました。去年、歌う側として感じたことを今回の合唱祭では注意して演奏することができました。ソロの部分やみんなの息の吸い方、目線など細かいところまで気を配り、挑んだ本番。それはいろいろな色が合わさって架かった虹のようにクラス全員の心が一つになった瞬間だったなと思います。最後の合唱祭、このメンバーで歌えて、本当によかったです。

(5組 谷口 美織)



合唱祭

私は「ぜんぶ」という歌を歌いました。ア・カペラで難しく、最初聞いたときは歌えるかなと不安になりました。

リハーサルでは、本来はゆっくりなのに速くなったりして、これは無理だと自分では思いました。さらに本番では、指揮なしでやったので不安に思いました。そのため、ゆっくりと全員で歌って終わったときには、達成感がありました。賞はとれなかったけど、楽しむことができたのでよかったなと思いました。

(7組 秋友 華音)

最後の合唱祭

中学最後の合唱祭、私は伴奏者としてクラスをサポートさせてもらいました。はじめは自分の伴奏や声の大きさ、歌の掛け合いに不安がありましたが、日に日に上達していくのを感じてうれしかったです。本番は焦らず落ち着いている3-6の雰囲気のおかげで、まったく緊張せず演奏することができました。舞台上で聞いた3-6の歌声は言葉に言い表せない迫力と感動がありました。私は終わった後の拍手と結果発表の時の喜びを、一生忘れないと思います。3か月以上の伴奏練習は、みんながいたからこそ頑張りきることができました。最後の合唱祭を伴奏者として支えられ、優秀賞をとることができて、そして、3-6で本当によかったです。

(6組 狩野 結南)

気付き

私は合唱祭が嫌いでした。でもそれが今年、少し変わりました。それは一生懸命に練習し、曲と向き合う8組のみんながいたからです。だからこそ、結果を聞いたときは「なんで8組じゃないんだ」と納得できませんでした。でも、教室で最後にみんなで歌っていた瞬間に悔しさは消え、もうみんなで歌うことはないんだと悲しみが募りました。歌い終わり、泣いていた伴奏の子と抱き合うと、思わずつられて涙があふれました。

嫌いだった合唱祭で泣くとは思っていなかったけれど、そのくらい自分の中で大きなものになったんだと気付き、少しうれしかったです。そして、それに気付かせてくれた8組のみんなと先生には本当に感謝をしています。

(8組 小島 彩)

